

株主の皆さまへ

特集編

社長メッセージ	………	P	2
トピックス	………	P	5
問うガス・プラザ	………	P	7
財務編	は裏面表紙からご覧ください。	P	10

東京ガス通信  
2004  
春夏号

本格始動。

フロンティア2007

グループ中期経営計画

## 工場見学会のご案内

昨年に引き続き、LNG(液化天然ガス)工場見学会を下記の通り開催いたします。

株主の皆さまのご参加をお待ち申し上げております。

### 施設見学会の概要と応募要領

- 見学施設 当社根岸工場
- 工場所在地 神奈川県 横浜市

- 見学会の日程  
・8月20日(金)・9月30日(木)・10月1日(金)  
13:00~17:00(全日とも)

- 集合場所 東京ガス本社ビル  
※なおご自宅から東京ガス本社ビル間の往復交通費は参加者ご本人のご負担とさせていただきます。

- 募集人数 各日 40組 80名様(1組2名様まで)

- 応募方法 下記のとおり、官製往復はがきに必要事項をご記入のうえご郵送ください。

締切は、7月31日(当日消印有効)です。



根岸工場

往信・うら

- ・お名前
- ・ご年齢
- ・ご住所
- ・お電話番号
- ・ご希望日

(8月20日、9月30日・10月1日のうち1日をご記入ください。)

- ・同行ご希望者のお名前

(おひとりでご参加の場合は不要です。)

往信・おもて

〒105-8527

東京都港区  
海岸1-5-20  
東京ガス株式会社

総務部総務グループ行

※返信用はがきのおもてには、ご住所・お名前を明記ねがいます。

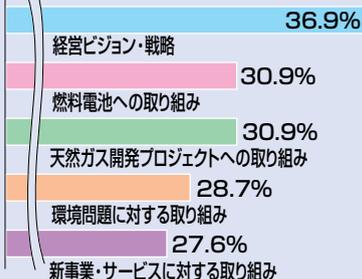
応募者多数の場合は、抽選とさせていただきます。  
結果は、返信用はがきにてお知らせいたします。

アンケート結果 対象：個人株主さま1万人【無作為抽出】 回答数：4,220件

### <代表的な質問と回答結果>

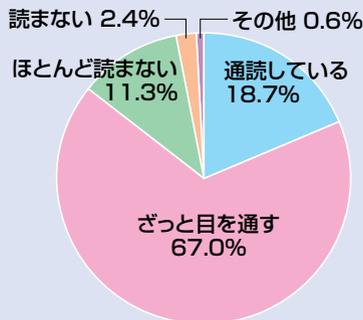
東京ガスに関してどのような  
情報を知りたいですか？

(関心の高い上位5項目)



(複数回答)

東京ガス通信をどの程度  
読んでいますか？



東京ガスでは、本年2月に個人株主さま1万人を無作為で抽出させていただき、アンケートを行いました。その結果、多くの皆さまからご回答をいただき、誠にありがとうございました。皆さまからいただいた貴重なご意見・ご要望は、「東京ガス通信」のより充実した誌面づくりには勿論のこと、今後のIR活動にも活かしてまいります。



東京ガス株式会社  
代表取締役社長 市野紀生  
いちの のりお

## 「フロンティア2007」の 前倒し達成を目指して

株主の皆さまには、平素から格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年は四月に改正ガス事業法が施行され、新規参入の拡大などガス市場における競合はますます激しくなります。また、エネルギー関連市場の融合化の進展、電化攻勢の激化など、都市ガス事業を取り巻く経営環境は大きく変化してまいります。

このようなエネルギー市

場における競合を勝ち抜いていくためには、都市ガスそのものの競争力を一層強めるとともに、周辺分野でお客さまの期待に応える新たな価値を創造していかなければなりません。そこで、当社は一昨年十月に「フロンティア2007（二〇〇三年度～二〇〇七年度）グループ中期経営計画」を策定いたしました。

二〇〇三年度は「フロン

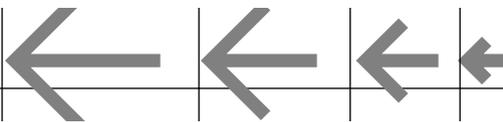
ティア2007」の初年度でしたが、おかげさまで着実な成果をあげることができました。売上高、經常利益については、冬場の気温が高めに推移したことによる暖房需要の減少があつたものの、冷夏による家庭用需要の増加や、発電用需要の増加等によるガス売上高の伸長に加え、コスト削減効果により、ともに前期を上回ることでできました。以下、計画の達成に向け、これまでに行われた主な動きについてご報告させていただきます。

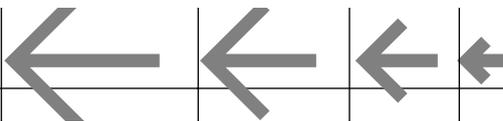
### ●電力事業

「LNG基地インフラ」を

活用する電力ビジネスとして、当初の大型電源（十萬kW）である東京ガスベイパワーが昨年十月に営業運転を開始いたしました。さらに、将来的に三百万kW規模

東京ガスベイパワー発電所  
（千葉県袖ヶ浦市）





までの事業拡大の可能性を追求するため、他社と共同で発電事業の検討を進めております。

### ● エネルギーマスターサービス

天然ガスコージェネレーションの高い環境性や、当社グループが長年蓄積してきた天然ガス利用技術・お客さまとのネットワークをベースとして、戦略子会社であるエネルギーマスターサービスを中心にした事業展開を行い、産業用・民生用分野あわせて約六万kWのエネルギーマスターサービスの受注実績をあげることができました。今後、エネルギーマスターサービス事業分野のトップランナ



ーを目指し、積極的な事業展開を進めてまいります。

### ● 上流開発・輸送事業

豪州・東ティモール共同石油開発海域内「バユ・ウリダン・ガス田」を開発し、液化天然ガスを豪州ダーウィン市郊外にて生産・販売する「ダーウィン LNG プロジェクト」へ正式参画しました。これは、当社グループとして初めての取り組みになります。さらに、輸送分野においては、当社グループ初の自社 LNG 船「エネルギーマスター」が就航いたしました。これら上流部門への進出によ

り、安定的かつ経済的な原料調達が可能となります。

### ● 家庭用新サービス

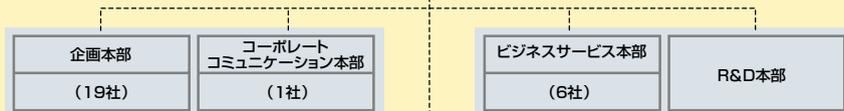
家庭用のお客さまに対する新サービスの開発・事業化の一環として、既に昨年一月から損害保険事業を開始しております。さらに、本年四月からはこれに続く新たなサービスとして、ホームセキュリティサービスの試行販売を開始し、この秋には本格展開いたします。

当社は、このホームセキュリティサービスの導入を通して、くらしの安心・安全をご提供し、これまで培ってきたお客さまへの「安心、安全、信頼」のブランド価値を活かしながら、今後もお客さまに選ばれ続ける企業であるよう努力してまいります。

### ● 戦略ビジネスユニット制の導入

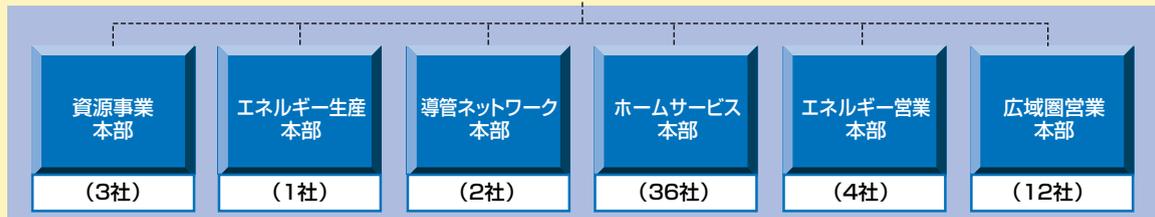
本年四月から、グループとしての経営資源や商材を最大限有効に活用し、

トップマネジメント



▲コーポレート  
(グループ全体の戦略策定、経営資源の配分)

▲シェアードサービス・R&D  
(連結会計、資材・物流、不動産管理などの  
共通サービスの提供および技術開発)



▲戦略ビジネスユニット (実際の事業戦略の推進)

お客さまへの最大の価値提供を目指すグループ経営体制を構築すべく、「戦略ビジネスユニット制」を導入いたしました。この戦略ビジネスユニット制は、東京ガスグループを「戦略ビジネスユニット」、「コーポレート」、「シェアードサービス・R&D」という三つの機能に区分し、都市ガス事業と関連事業が一体となった戦略を展開することで、強靱なグループ経営体制の構築とグループ価値の最大化を目指すものです。

●財務体質の強化●

当社は、当期に規約型企業年金の導入を決定いたしました

が、この退職給付制度の改定を機に過年度に発生した退職給付会計における未認識債務を一括償却いたしました。これにより、退職給付債務等の状況を適時に財務諸表に反映させるとともに、将来の費用負担を軽減させ、財務体質の健全化を

図つてまいります。

●株主還元の拡充●

また、「フロンティア2007」では、一株当たりの価値を向上させ、資本コストを削減するために五年間で一千億円の自社株取得を計画しており、その一環として二〇〇三年度は七千六百六十万株の自社株を取得いたしました。

この自社株取得による一株当たりの価値向上に加え、二〇〇三年度より株主さまへの利益還元として、配当をこれまでの年六円から七円に増配いたします。

当社は二〇〇四年度も新たなグループ体制のもと、企業価値をさらに高め、株主の皆さま、お客さまのご期待にお応えできるよう、努力してまいります。

株主の皆さまの、変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## ガスコージェネレーションシステム 稼働容量100万kWを突破

(04年1月)

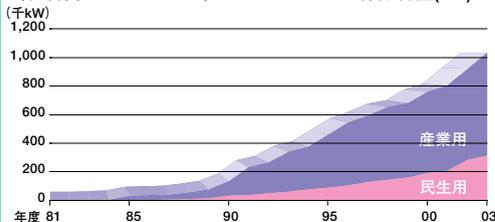
東京ガスグループによるガスコージェネレーションシステム稼働容量が、この一月、産業用・民生用合わせて百万kWを突破しました(東京ガス管内)。



六本木ヒルズ全景

同システムは一九八一年に第一号機が国立競技場へ設置されて以来、その省エネルギー性・経済性とともに環境負荷が小さいことから注目を集め、工場・ホテル・病院などを中心に広く採用され、順調に伸び続けてきました。二〇〇三年には、六本木ヒルズへの電気・ガスの供給を目的に当社と森ビル(株)が共同で設立した六本木エネルギーサービス(株)も稼働を開始しています。

当社管内のガスコージェネレーションシステム稼働容量(kW)



(注1) 発電専用(事業用・自家用)を除く。  
(注2) 六本木エネルギーサービス(六本木地区)を含む。  
(注3) 公共用物件は、産業用を含む。

## 住宅リフォーム事業で新展開

(04年3月)

東京ガスグループの東京ガスハウジング(株)が社名を変更し、「東京ガスリモデリング株式会社」として住宅リフォーム事業への新展開を開始しました。「リモデリング」とは、「改装・改築・模様替え」という意味で、いわゆる「リフォーム」を表す言葉として認知が進んでいます。地域のお客さまから、社名を見ただけで「信頼できるリフォーム会社」と判断いただけるものとすることを目指しました。

同社はこれまでリフォーム事業を主軸としながら住宅設備機器の開発・販売などを手がけてまいりましたが、今後は事業領域をリフォーム事業に一本化し、地域リフォーム営業拠点「リヴィングモア」の店舗展開強化などに取り組み方針です。

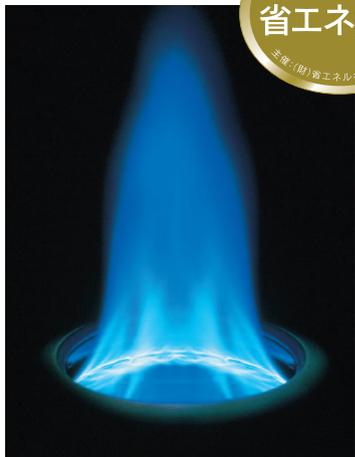


## 内炎式バーナー搭載コンロで 省エネ大賞受賞

(04年2月)

東京ガス、大阪ガス(株)、東邦ガス(株)、リンナイ(株)が共同開発した「高効率内炎式バーナー搭載ガスコンロ」が平成十五年度省エネ大賞の省エネルギーセンター会長賞を受賞しました。省エネ大賞は、省エネルギー性・省資源性・環境改善性に優れた機器・システムなどに対する表彰制度です。

受賞した内炎式バーナーは、炎が内向きに渦巻き状に燃焼し、鍋底全体を素早く加熱するので、強火から極弱火まで自由自在に調節できます。この内炎式バーナーは、当社のピピッとコンロの一部に搭載されています。



平成15年度  
省エネ大賞  
省エネルギーセンター会長賞受賞  
主催(財)省エネルギーセンター

## 二〇〇三年インターネットIR ベスト企業賞受賞 (大和インベスターリレーションズ選定)

(03年12月)

東京ガスのIR(株主・投資家向け)ホームページは、大和インベスターリレーションズが選定した、「二〇〇三年インターネットIR・ベスト企業賞」に選ばれました。



IRホームページでは、アニユアルレポートや、東京ガス通信のほか、社長から株主の皆さまへのメッセージ、IRイベント情報、株式諸手続等の情報をご覧いただくことができます。また、「個人投資家の皆さまへ」というページを設けて、個人株主・投資家の皆さまに当社へのご理解を深めていただけるような内容づくりに努めています。さらに、ご希望の方には東京ガスからのニュースを直ちにメールでお届けするサービスも実施しています。

東京ガスの株主・投資家の皆さま向けのホームページをぜひ一度ご覧になってみてください。



東京ガスIRホームページURL:

[http://www.tokyo-gas.co.jp/IR/ir\\_j.html](http://www.tokyo-gas.co.jp/IR/ir_j.html)

# 問うガスプラザ

## コミュニケーション広場

**Q** 環境に優しく、しかも経済的な家庭用燃料電池コージェネレーションシステムが二〇〇四年度中に発売されるそうですねが……。

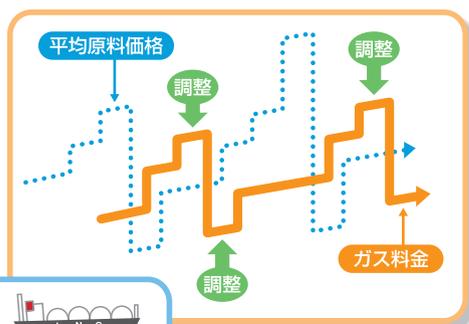
**A** 家庭用燃料電池コージェネレーションシステムは、燃料電池を利用して自分の家で電気とお湯を同時につくる、新しい発電・給湯システムです。電気は電気機器などに、お湯は風呂・シャワーなどに利用されます。東京ガスは、荏原バレード(株)グループ、松下電器産業(株)の燃料電池システムグループ二社と共同開発を進めており、いよいよ二〇〇四年度第四・四半期に発売いたします。この燃料電池コージェネレーションシステムは、従来より、

一次エネルギー消費量を約二十六％、二酸化炭素排出量を約四十％削減できるため、省エネルギーや地球温暖化防止の観点から、社会的にも期待と注目を集めています。



**Q** 東京ガスは海外から原料を輸入していますが、為替・原油価格の変動により業績にどのくらい影響があるのでしょうか？

**A** 東京ガスは、都市ガスの原料であるLNGを海外から輸入しています。LNG価格は原油価格の変動の影響を受けます。しかし、原料費が変動しても、その分は「原料費調整制度」により三カ月ごとに調整され、約六カ月遅れでガス料金に反映されます。ですから一年間で年度を区切ると回収超過や回収不足が発生しますが、長期的に見れば収支への影響はありません。



原油価格↑↓  
+  
為替 ¥ \$



●原料費調整制度のイメージ

※ 燃料電池：水の電気分解と逆の原理により、水素と酸素から化学反応によって電気と熱をつくる装置。水素は都市ガスなど様々な原料から調達します。

# くらしの安心・安全を守る



東京ガスでは、グループ中期経営計画「フロンティア2007」で「ガス単体供給を中心とするビジネスモデル」から「エネルギー・商品・サービスをトータルで価値提供するビジネスモデル」への変革を掲げ、家庭向けにおいても新サービスの開発・事業化を進めています。その一環として、総合警備保障(ALSOK)と業務提携し、四月からホームセキュリティサービスの試行販売を開始しました。販売は、東京ガスのサービス窓口であるエネスタが行い、この秋には本格展開を予定しています。

■**侵入検知サービス**  
 新サービスは、防災に強い東京ガスと、防犯に強いALSOKが、二十四時間三百六十五日お客さまの暮らしを守るもので、お客さまご自身が選べる自由設計型のサービスを、月々千九百円からご利用いただけます。具体的なサービス内容は次の通りです。

■**非常通報サービス**  
 非常時にボタンを押すと、ALSOKの警備員が駆けつけます。

■**火災ガス漏れ対処サービス**  
 火災警報器が火災の発生を検知すると、ALSOKの警備員が駆けつけます。ガス漏れ警報器がガス漏れを検知すると、東京ガスの緊急保安要員が駆けつけます。

■**鍵安心サービス**  
 「ガス安心サービス」や「鍵安心サービス」といった東京ガスならではのメニューが特徴です。東京ガスは、ホームセキュリティサービスを通して暮らしの安心・安全をご提供し、今後もお客さまに選ばれ続ける企業であるために努力してまいります。



東京ガスでは企業の社会貢献活動として、次世代を担う子どもたちがエネルギー・環境について理解を深めるために、小・中学校の「総合的な学習の時間」向けに教材や出張授業などの提供を行っています。この活動は一昨年四月に本格スタートしたのですが、大きな反響をいただき、これまでに延べ約九万人の子どもたちに出張授業を行っています。

### ●出張授業プログラム

「燃料電池って何だろう?」「体験しよう!マイナス百六十二度の不思議な世界」「天然ガス自動車って?」「シニア・シミュレーション(高齢者疑似体験)」など東京ガスならではのユニークなテーマで、社員が学校で授業をし、子どもたちが実際に参加・体験し、楽しみながら学ぶプログラムです。

## ●小中学校のエネルギー・環境学習をお手伝い

### ●教材テキスト

小学校三〜六年生向けテキストでは、限りあるエネルギーや資源を大切に使うための工夫、エネルギーの利用が環境に与える影響などを紹介します。中学生向けテキストでは、天然ガスの利用が環境への負荷を小さくするなど環境問題を解決への対応なども盛り込んでいます。



小学生向け教材

中学生向け教材



学習サイト「みんなのエネルギー広場」  
<http://www.tokyo-gas.co.jp/kids/>

### ●学習サイト

子どもたち自らがインターネットで調べることに対応し、環境・エネルギー・都市ガス・生活についての素朴な疑問に答え、やさしく説明しています。



出張授業の風景

企業の環境情報開示の一環として、環境報告書を発行しています。  
**「東京ガス環境報告書」**は、当社ホームページ上でも公開しております。

**Web** URL : [http://www.tokyo-gas.co.jp/env/ecorep/j\\_text/content.html](http://www.tokyo-gas.co.jp/env/ecorep/j_text/content.html)

# 10年目を迎えた 「エコ・クッキング」®

東京ガスでは、一人ひとりが身近に取り組める、環境に優しい暮らしを提唱していますが、その一環として推進しているのが「エコ・クッキング」です。一九九五年から講座を開催、企業の社会貢献活動の一環として「買い物」「料理」「片付け」の一連の流れを通して、環境に配慮した食生活を十年にわたり提案し続けています。



エコ・クッキング実習

問いかけるほか、旬の食材を買うことを提案します。旬の食材はおいしいだけでなく、生産時のエネルギーが少なくエコロジカルです。「料理」では食材を無駄にしないほか、省エネ・省時間の調理法、ガスを無駄にしない火加減や湯沸しの方法などを、「片付け」では、食器を拭いてから洗う、とぎ汁・ゆで汁を下洗いに利用するといったことを紹介します。

環境月間（六月）、三R（リデュース、リユース、リサイクル）推進月間（十月）、省エネルギー月間（二月）を中心に、東京ガスの料理教室とショールームで講座を開催しています。参加者数も毎年伸びており、昨年は一万余人が受講しました。ホームページへのアクセス件数も十万件／月に達するなど、東京ガスの提案す



る「エコ・クッキング」への関心は全国規模で高まっています。そこで「エコ・クッキングノート」という冊子を全国の小学生向けに作成したほか、「今日からできる! エコ・クッキング」という書籍の監修も行いました。また、エコ・クッキングを普及する「エコ・クッキング・インストラクター」を全国のガス事業者向けに養成しています。



※エコ・クッキングは東京ガス株式会社の登録商標です。  
<http://www.tokyo-gas.co.jp/ecocom/ecocooking>

2004年3月期

財務編

# 決算のご報告

株主の皆さまへ

## 2004年3月期決算のご報告

- 業績ハイライト…………… P 1-2
- 財務諸表 …………… P 3-4
- 主な指標 …………… P 5-6
- 会社情報・株式情報 …… P 7-8

**特集編** は裏面表紙からご覧ください。

東京ガス通信  
2004  
春夏号



この小冊子は、社内の使用済み文書を回収・再生した「東京ガス循環再生紙」を使用しています。



<http://www.tokyo-gas.co.jp/>

# 2004年3月期業績ハイライト(連結)

東京ガスグループの2004年3月期連結売上高は、ガス販売量の対前期比**7.1%増**という堅調な伸びを受け、ガス売上高が同**4.9%増加**いたしました。ガス器具売上高および受注工事売上高が減少したこと等により、対前期比**2.1%増の1兆1,518億円**(過去最高)となりました。一方、費用については、原材料費がガス販売量の伸びに伴い増加しましたが、経営効率化の一層の推進を図り、諸経費・人件費等費用の抑制に最大限の努力を重ねてまいりました。

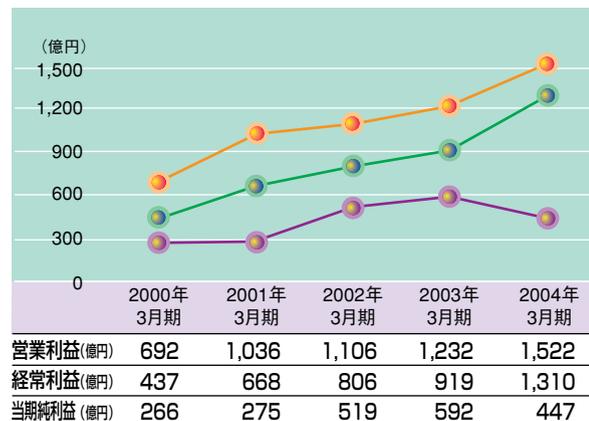
この結果、営業利益は同**23.5%増の1,522億円**(過去最高)、経常利益は同**42.6%増の1,310億円**(歴代第2位)となりました。また、当期は当社の企業年金制度変更に伴う退職給付引当金取崩益56億円、固定資産売却益21億円を特別利益として計上し、当社の退職給付数理計算上の差異一括償却額589億円、固定資産減損損失33億円を特別損失として計上したこと等により、当期純利益は同**▲24.3%減の447億円**(歴代第4位)となりました。

本資料の記載内容のうち、歴史的事実でないものは将来に関する見通しおよび計画に基づいた予測です。これらの将来予測には、リスクや不確定な要素などの要因が含まれており、実際の成果や業績などは記載の見通しとは異なる可能性があります。

## 売上高

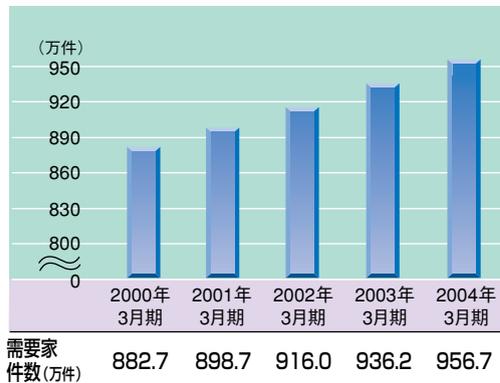


## 営業利益 経常利益 当期純利益

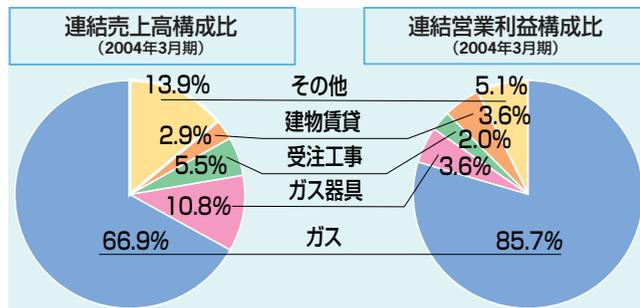


※財務編p1~6の各数値は四捨五入・切り捨て処理等の関係で、合計が合わない場合があります。

## 需要家件数



## 事業の種類別セグメント情報



※売上高および営業利益の構成比率には、セグメント間の取引を含んでおります。

事業区分はガス事業会計規則に準拠した売上集計区分によっています。各事業区分に属する主要な製品は以下のとおりです。

- ガス：ガス
- ガス器具：ガス機器
- 受注工事：ガス工事
- 建物賃貸：建物の賃貸・管理等
- その他の事業：地域冷暖房、LPG販売等

## ガス販売量実績



### [03/3→04/3主な増減要因]

- 家庭用 (▲0.3%)**
  - ・ 春先および夏場の低気温の影響による需要の伸び
  - ・ 下期の高気温による給湯・暖房需要の伸び悩み
- 業務用 (+4.0%)**
  - ・ 新規物件の順調な稼働
  - ・ 夏場の低気温、下期の高気温による空調需要の伸び悩み
- 工業用 (+15.7%)**
  - ・ 発電用需要の拡大による増
  - ・ 既存物件の稼働増等
- 卸供給 (+9.1%)**
  - ・ 卸供給先への販売量増加

## 財務諸表(連結・単体)

## 連結 損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	2003.4~2004.3	2002.4~2003.3
売上高	1,151,824	1,127,633
売上原価	578,529	571,929
売上総利益	573,294	555,704
供給販売費	345,572	359,999
一般管理費	75,434	72,409
営業利益	152,287	123,294
営業外損益	▲ 21,193	▲ 31,339
経常利益	131,093	91,955
特別損益	▲ 57,962	3,928
税金等調整前当期純利益	73,131	95,882
法人税・住民税および事業税	44,266	43,621
法人税等調整額	▲ 16,366	▲ 7,244
少数株主損益	444	304
当期純利益	44,787	59,201

ガス売上高は対前期比4.9%増となりましたが、ガス器具売上の同▲6.1%減、受注工事売上の同▲3.6%減などにより、連結売上高は同2.1%増の1兆1,518億円となりました。

費用は、ガスの原材料費が販売増等により増加しましたが、諸給与・諸経費等の圧縮により、営業利益は23.5%増、経常利益は42.6%増となりました。

これに企業年金制度変更に伴う退職給付引当金取崩益ほか84億円を特別利益に計上し、退職給付数理計算上の差異一括償却額ほか663億円を特別損失に計上したこと等により、当期純利益は同▲24.3%減の447億円となりました。

## 連結 貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

	2004.3	2003.3		2004.3	2003.3
(資産の部)			(負債の部)		
固定資産	1,407,725	1,411,513	固定負債	734,345	751,572
有形固定資産	1,170,428	1,217,465	流動負債	329,770	340,746
無形固定資産	18,856	20,609	負債合計	1,064,116	1,092,319
投資その他の資産	218,440	173,438	少数株主持分	4,258	4,039
流動資産	259,102	264,551	(資本の部)		
資産合計	1,666,828	1,676,064	資本金	141,844	141,844
			資本剰余金	2,065	2,065
			利益剰余金	457,924	429,652
			その他	35,427	17,006
			自己株式	▲ 38,808	▲ 10,862
			資本合計	598,453	579,706
			負債・少数株主持分および資本合計	1,666,828	1,676,064

### 連結 キャッシュ・フロー計算書(要旨) (単位:百万円)

	2003.4~2004.3	2002.4~2003.3
営業活動によるキャッシュ・フロー	<b>217,608</b>	213,532
投資活動によるキャッシュ・フロー	<b>▲126,038</b>	▲110,143
財務活動によるキャッシュ・フロー	<b>▲99,744</b>	▲78,517
現金および現金同等物に係る換算差額	<b>5</b>	▲2
現金および現金同等物の増減額	<b>▲8,169</b>	24,869
現金および現金同等物の期首残高	<b>52,129</b>	27,260
現金および現金同等物の期末残高	<b>43,960</b>	52,129

当期は、①営業活動で生じた2,176億円を、②固定資産や投資有価証券等に1,260億円投資し、③自己株式の取得や有利子負債の返済等に997億円が支出されました。その結果、期末の現金および現金同等物の残高は減少(▲82億円)しました。

### 単体 損益計算書(要旨) (単位:百万円)

	2003.4~2004.3	2002.4~2003.3
営業収益	<b>1,013,754</b>	992,236
ガス売上	<b>823,509</b>	785,079
その他収益	<b>190,244</b>	207,157
営業費用	<b>886,799</b>	892,128
売上原価	<b>310,108</b>	288,896
販売費および一般管理費	<b>397,887</b>	406,694
その他費用	<b>178,803</b>	196,537
営業利益	<b>126,954</b>	100,108
営業外損益	<b>▲11,095</b>	▲20,428
経常利益	<b>115,859</b>	79,680
特別損益	<b>▲54,299</b>	4,177
法人税等	<b>37,220</b>	37,140
法人税等調整額	<b>▲15,933</b>	▲6,915
当期純利益	<b>40,273</b>	53,633
当期末処分利益	<b>73,694</b>	79,141

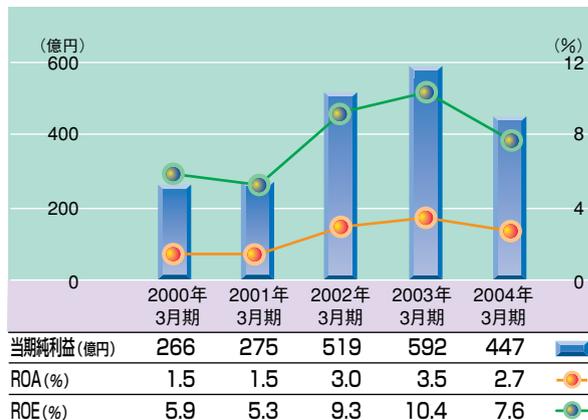
### 単体 貸借対照表(要旨) (単位:百万円)

	2004.3	2003.3		2004.3	2003.3
(資産の部)			(負債の部)		
固定資産	<b>1,193,530</b>	1,184,773	固定負債	<b>599,866</b>	610,408
有形固定資産	<b>869,849</b>	910,530	流動負債	<b>269,938</b>	242,686
無形固定資産	<b>14,645</b>	16,138	負債合計	<b>869,805</b>	853,094
投資その他の資産	<b>309,035</b>	258,103	(資本の部)		
流動資産	<b>216,492</b>	196,585	資本金	<b>141,844</b>	141,844
資産合計	<b>1,410,023</b>	1,381,359	資本剰余金	<b>2,065</b>	2,065
			利益剰余金	<b>403,442</b>	379,668
			その他有価証券評価差額金	<b>31,673</b>	15,548
			自己株式	<b>▲38,808</b>	▲10,862
			資本合計	<b>540,217</b>	528,264
			負債・資本合計	<b>1,410,023</b>	1,381,359

## 主な指標

## 経営指標（連結）

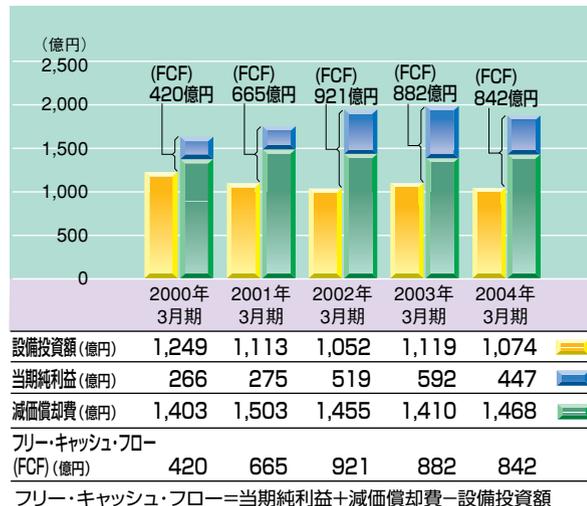
当期純利益  ROA  ROE 



ROA=当期純利益÷期首・期末平均総資産×100

ROE=当期純利益÷期首・期末平均株主資本×100

フリー・キャッシュ・フロー (FCF)

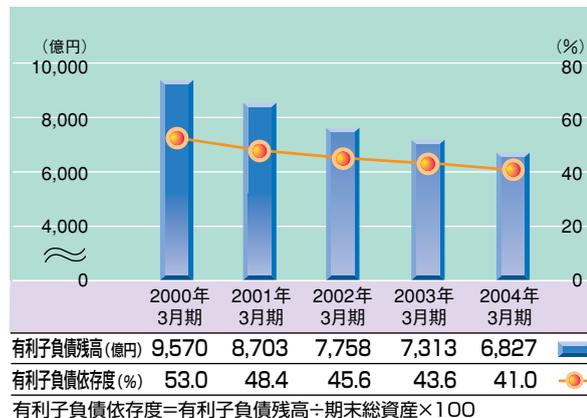


総資産  株主資本  株主資本比率 



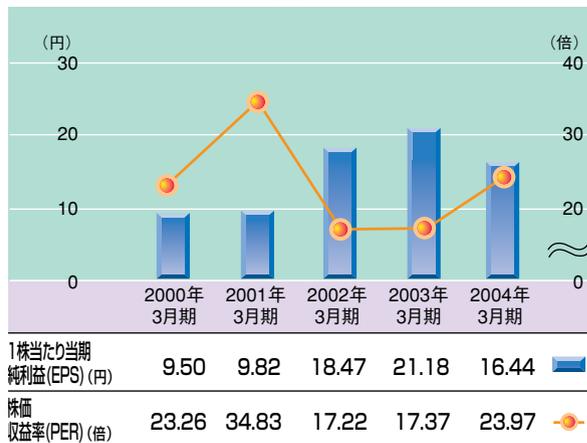
株主資本比率=株主資本÷総資産×100

有利子負債残高  有利子負債依存度 



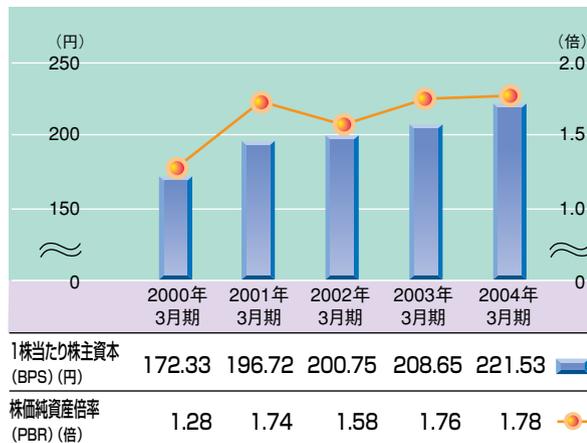
## 株式関連指標（連結）

1株当たり当期純利益 (EPS) ■ 株価収益率 (PER) ●



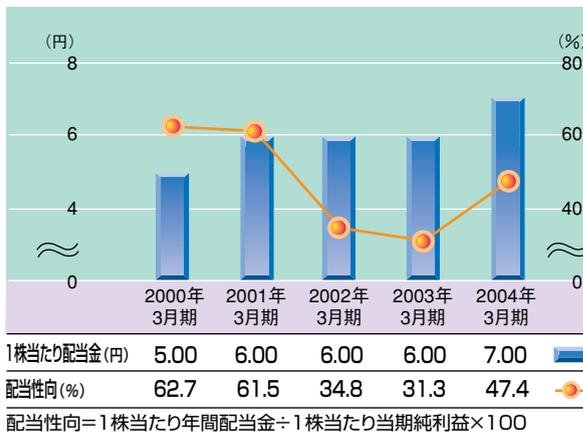
1株当たり当期純利益 (EPS) = 当期純利益 ÷ 期中平均株式数  
 株価収益率 (PER) = 期末株価 ÷ EPS

1株当たり株主資本 (BPS) ■ 株価純資産倍率 (PBR) ●



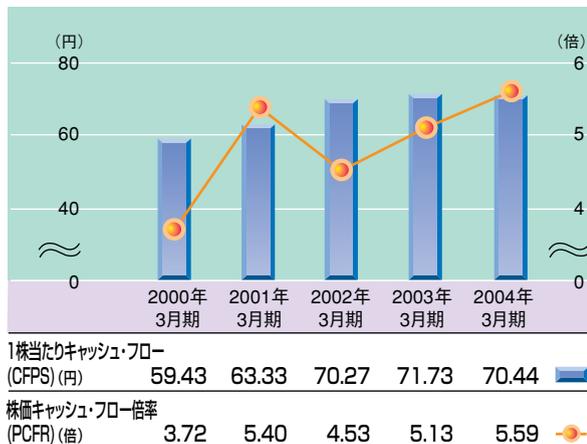
1株当たり株主資本 (BPS) = 株主資本 ÷ 期末株式数  
 株価純資産倍率 (PBR) = 期末株価 ÷ BPS

1株当たり配当金 (単体) ■ 配当性向 (単体) ●



配当性向 = 1株当たり年間配当金 ÷ 1株当たり当期純利益 × 100

1株当たりキャッシュ・フロー (CFPS) ■ 株価キャッシュ・フロー倍率 (PCFR) ●



1株当たりキャッシュ・フロー (CFPS)  
 = (当期純利益 + 減価償却費) ÷ 期中平均株式数  
 株価キャッシュ・フロー倍率 (PCFR) = 期末株価 ÷ CFPS

# 会社情報 (2004年3月31日現在)

## ●会社概要

会社名：東京ガス株式会社

設立：1885(明治18)年10月1日

本社所在地：〒105-8527

東京都港区海岸一丁目5番20号

従業員数：8,753名

(注)従業員数は常勤の就業人員数を記載しており、  
出向者および臨時従業員を含みません。

格付け：AA+(R&I：格付投資情報センター)  
Aa1(ムーディーズ)

連結子会社：18社

持分法適用関連会社：1社

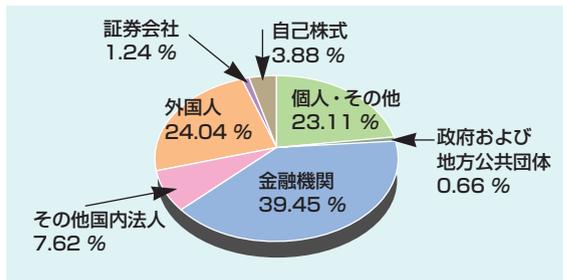
## ●株式の状況

資本金 **141,844,398,888 円**

発行済株式総数 **2,810,171,295 株**

株主数 **187,544 人**

## ●所有者別株式分布状況



## ●役員状況 (2004年6月29日現在)

### 取締役および監査役

代表取締役会長	安西邦夫
代表取締役副会長	上原英治
代表取締役社長(兼 社長執行役員)	市野紀生
代表取締役(兼 副社長執行役員)	鳥原光憲
代表取締役(兼 副社長執行役員)	草野成郎
代表取締役(兼 副社長執行役員)	小林剛也
取締役(兼 常務執行役員)	前田忠昭
取締役(兼 常務執行役員)	國富隆
取締役(兼 常務執行役員)	岡本毅
取締役(社外)	茂木友三郎
取締役(社外)	今野由梨
取締役(社外)	佐藤行雄
常勤監査役	秋元壯一郎
常勤監査役	平井浩
監査役(社外)	根本和夫
監査役(社外)	花房正義

### 執行役員 (取締役兼務者を除く)

副社長執行役員	石黒正大	執行役員	今沢時雄
常務執行役員	土生哲	執行役員	中西誠一
常務執行役員	手塚俊夫	執行役員	奥澤泰一
常務執行役員	杉山昌樹	執行役員	星野則和
常務執行役員	村木茂	執行役員	鍋木正
		執行役員	蟹沢俊行
		執行役員	森邦弘
		執行役員	蛭間泰弘
		執行役員	大谷勉
		執行役員	板沢幹雄
		執行役員	広瀬道明

## ●株主メモ

決算期： 毎年3月31日

配当金受領株主確定日： 利益配当金 毎年3月31日  
中間配当金 毎年9月30日

名義書換代理人： 東京都港区芝三丁目33番1号  
中央三井信託銀行株式会社

同事務取扱所： 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部  
〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
【電話】東京 (03) 3323-7111 (代表)

各種手続き用紙のご請求は下記のフリーダイヤルまたは  
ホームページをご利用ください。

☎0120-87-2031

【URL】[http://www.chuomitsui.co.jp/person/p\\_06.html](http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html)

同取次所： 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店  
日本証券代行株式会社 本店および全国各支店

手数料： 名義書換手数料は無料  
株券交付手数料は株券1枚につき200円  
ただし、株券併合の場合は無料

定時株主総会： 毎年6月

公告掲載新聞： 日本経済新聞  
決算公告については、貸借対照表および損益計算書を  
当社ホームページに掲載しております。  
【URL】[http://www.tokyo-gas.co.jp/IR/ir\\_j.html](http://www.tokyo-gas.co.jp/IR/ir_j.html)

株式に関する各種手続きは  
中央三井信託銀行で  
お取り扱いします。

## 住所変更：

お早めに中央三井信託銀行へご連絡いた  
だき、変更届にてお手続きをお願いいた  
します。保管振替制度を利用され、お手  
元に株券がない場合はお取引証券会社へ  
お申し出ください。

## 配当金の受け取り：

郵便振替支払通知書を郵便局へご持参の  
上、お受け取りいただく方法と、銀行振  
込をご利用いただく方法があります。銀  
行振込をご希望の方は配当金振込指定書  
を中央三井信託銀行へご請求ください。

## 名義書換：

お手続きには名義書換請求書と株券が必  
要です。証券会社に株券を預けている場  
合は、証券会社にお問い合わせください。

## ●株価および出来高の推移 (東京証券取引所)

